



はばたけ！佐世保のアスリート ⑦ 軟式野球競技（成年男子）

日本生まれの「軟式野球」は、ゴムのボールを使うことを除けば、プロ野球などでおなじみの「硬式野球」と同じルールで行われます。今回は、軟式野球競技の注目チームである親和銀行野球部を紹介します。

親和銀行野球部は軟式野球競技国体強化指定クラブの一つで、社会人屈指の軟式野球チームです。昨年の東京国体では5人の選手が県代表に選出され、18年ぶりの準優勝という快挙の原動力になりました。ことし開催の長崎がんばらんば国体でも、悲願の全国制覇に向け、選手たちの活躍が大いに期待されています。



林田大輔監督

長崎がんばらんば国体の目標はもちろん全国制覇です！常に高い意識を持って練習し、目標を達成します。



磯祐一郎選手（ショート）

普段から応援などで元気をいただいているので、国体では市民の皆さんに元気になってもらえるようなプレーをしたいです。

長崎 **がんばらんば** 国体 2014 長崎 **がんばらんば** 大会 2014
軟式野球競技（成年男子） 10月18日（土）～21日（火）
会場 総合グラウンド野球場、吉井野球場、千鳥越野球場

☎国体推進室 ☎76-7103



7つの海から佐世保へ！ 国際ターミナルを整備します

佐世保港の三浦地区に整備中の国際ターミナル。施設整備の目的や今後の展望について、朝長市長がお知らせします。

人の動き 6月1日 現在

- 総人口 255,781人(-21人)
男性 120,181人(+30人)
女性 135,600人(-51人)
- 世帯数 106,172世帯(+80世帯)

※5月中の動き

転入 577人、転出 531人
出生 173人、死亡 240人

させぼ市政だより

- テレビ
NBC→土曜9時25分～30分
KTN→土曜11時40分～45分
NCC→土曜10時55分～11時
NIB→日曜6時25分～30分
- ラジオ
NBC 日曜 9時25分～30分
FM長崎 火曜 9時5分～10分
FMさせぼ 火曜10時30分～35分
日曜 9時30分～35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜



6月放送の収録の様子。市ホームページで視聴できます。

放送予定日	放送時間（放送局）
7月 5日（土）	9:25(NBC) 11:40(KTN)
7月12日（土）	10:55(NCC)
7月13日（日）	6:25(NIB)
7月19日（土）	9:25(NBC) 11:40(KTN)
7月26日（土）	10:55(NCC)
7月27日（日）	6:25(NIB)
毎週日曜	18:55(テレビ佐世保)

7月のプレゼント



佐世保開港ロールケーキを5人に！

新食感スイーツとして開発されたロールケーキです。ほろ苦いコーヒーの味と、ハートのプリンのおさっぱりした味をお楽しみください。
※応募方法は番組内でお知らせします。

☎秘書課 ☎24-1111

市長日記

おもてなしの心とうれしい手紙



本市は先日、「平成25年佐世保市観光統計」を発表しました。それによると、観光客は約539万人（宿泊客153万人、日帰り客386万人）で、前年と比較し約8%の増加。宿泊客は約26.1%増と驚異的な伸びを示しました。

日帰り客は24年に全国和牛能力共進会長崎県大会（来場者約27万人）を開催したため反動減を危惧していましたが、逆に2.2%の増加となりました。このような好結果となったのは、本市の2大観光地ハウステンボスと九十九島パールシーリゾートの来場者の大幅な増加が大きく影響したものと分析しています。

本年10月12日（日）にははいよいよ長崎がんばらんば国体が開幕し、続いて11月1日（土）には長崎がんばらんば大会が開幕します。先日開催した同大会の佐世保市実行委員会総会では、「おもてなしの心で選手、役員、観光客を迎えよう」と皆さんで誓いました。市民の皆さんもどうぞよろしくをお願いします。

ところで、「おもてなしの心」と言えば、5月10日に佐世保港に寄港した国際大型クルーズ船「コスタ・ビクトリア」のお客さまからうれしいお手紙をいただきましたのでご紹介します（右記をご覧ください）。

成長戦略の大きな柱に「観光」を掲げている本市が今後ますます発展していくためには、市民の皆さんの温かい「おもてなしの心」が必要であり、今回のお手紙はまさしくその重要性を示唆しているものと思います。がんばらんば国体や来年の西海国立公園指定60周年などを大きなチャンスと捉え、佐世保市民一体となって、「させぼ観光3しいGO!作戦」と「心を込めたおもてなし」を実行し、真の観光都市を目指しましょう！

佐世保市長 朝長 則男

関係者の皆様へ

私は先日5月10日に市長はじめ大勢の方に迎えていただいたコスタビクトリア号の乗船客です。本当に心のこもった「おもてなし」に感動しました。ありがとうございました。市長からの歓迎のお言葉、若い方々のジャズ演奏、よさこい踊り、小さい子どもたちのお手振り、どれもこれも心のこもった温かいものでした。

私たちは下船後、バスに乗り、各々の目的地に向かい、観光をしました。九十九島の海の美しさにみんなで歓声を上げ、ハウステンボスで美しい花々に心を洗われました。

しかし、残念だったことは、佐世保の街で地元の人々に触れ合えなかったことです。港にテントを張り、たくさんのお土産を紹介して下さっている方たちとお話しする時間もなくて、買い物する時間もなくて大変申し訳なく思いました。その旨はコスタビクトリアのアンケートにも書きました。昼食もレモンステーキやチャンポン、佐世保バーガーなど迷いましたが、1回では1品しか食べられず残念でした。佐世保の夜も歩いてみたいですね。またぜひ佐世保を訪れたいと夫と話しました。

船が離れる時、皆様がずっと手を振って下さるのが、変な気持ちですが、何だか懐かしいような、自分の故郷を離れるような思いがして、涙があふれました。周りの方々もハンカチを目に当てていました。

世知原茶をお土産にと渡した友人は「香りがいいね。久しぶりにおいしいお茶だね」と喜んでくれました。いりこは孫のおやつです。

本当にありがとうございました。心からお礼を申し上げます。

コスタビクトリア乗船者（神奈川県在住）

徳育通信 28

あいさつは反射神経 ～目を見て 笑顔で 心から～

佐世保市の「徳育推進のまちづくり宣言」を受けて、「あいさつ運動」を学校の一徳運動として位置付け、生徒会を中心に取り組んできました。ことして3年目となりますが、このスローガン、「あいさつは反射神経 ～目を見て 笑顔で 心から～」もしっかりと定着し、地域の方々からも「福石中学校の生徒のあいさつはとて良くなった」と高く評価していただいています。また、あいさつのことだけでなく、「登下校中の生徒に手助けしてもらって本当に嬉しかった」等の

電話や手紙も時折いただくなど、生徒個々の道徳性の高まりも感じられます。

「あいさつは、人と人が交わる際の第一歩であり、気持ちの良いあいさつは、社会生活に潤いを与えます。あいさつをすることで、相手だけでなく自分自身も清々しい気持ちになることができます。何より、きちんとあいさつができるということは、自分の財産にもなります」と、生徒にも常々話しています。

このスローガンの前には、「みんな



で広めよう」という文言が付いています。学校内はもとより、生徒一人一人がそれぞれの地域であいさつを実践することにより、福石中学校区全体が、明るいあいさつが交わされる素敵な「まち」になるように願っています。

市立福石中学校 校長 松野廣文

この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう！